SONY

PSX

PSX準備のポイント

この「PSX準備のポイント」には、本機の準備（設置や接続）をするうえで、必ず守っていただきたい注意事項が記載されています。
付属の取扱説明書と一緒にご覧になりながら、本機の準備を行ってください。

：詳しくは取扱説明書の該当ページをご覧下さい。

アンテナや映像・音声ケーブルを接続するときのポイント

「準備2　アンテナを接続する」（9ページ）
「準備3　映像と音声のケーブルを接続する」（12ページ）

アンテナの接続を誤った方法で行うと、本機のハードディスクが壊れたり、アンテナが故障したりすることがあります。
以下のポイントを必ず守って作業してください。

接続するときのみ本機の天面を下にして作業してください

天面を下にして設置するときは、必ず柔らかい布をしいてから設置してください。

ふたのはずしかた

Step1　ふたの を一度押し込んでから、

Step2　手前に引っぱる。

接続作業を行っているときに、本機を倒したり、衝撃を与えないようにしてください

電源コードはすべての接続が終わってから接続してください

壁のコンセントに本機の電源コードを接続してから本機を設置すると、ハードディスクに衝撃が加わり、故障の原因となることがあります。
電源コードは準備作業がすべて終了してから、以下の手順を守って接続してください。

Step1　本機に電源コードを接続する。

Step2　設置場所を決め、本機を設置する。

Step3　壁のコンセントに本機の電源コードを接続する。

2-595-307-01(1)

本機とテレビを映像コードまたはS映像コードで接続しているときは、本機のプログレッシブ出力の設定を「切」にしてください

本機の「DVDの設定」の「プログレッシブ出力を設定する」（131ページ）で「入」を選びプログレッシブ出力で出力しても、映像が表示されません。このような場合は設定を「切」のままにしてください。
DVDの映像が映らないときも、プログレッシブ出力の設定をご確認ください。

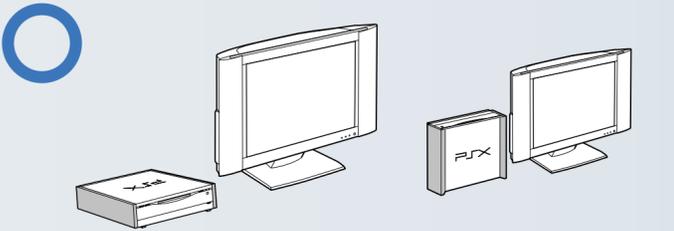
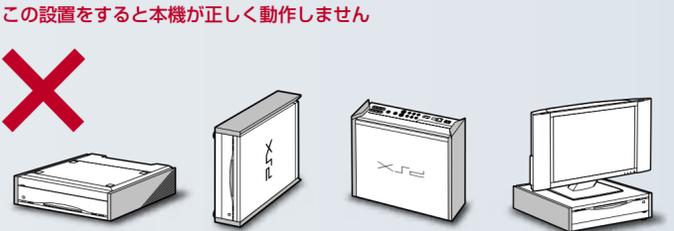
本機を設置する時のポイント

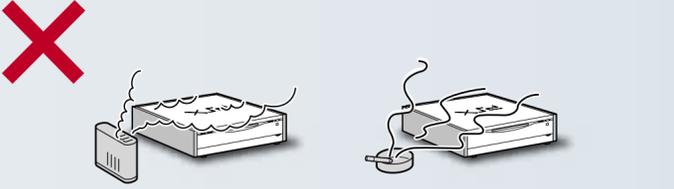
「準備5　設置する」（13ページ）

本機を指定された方法以外で設置すると、CDやDVDなどのディスクが正しく動作しません。
必ず正しい設置方法に従って、本機を設置してください。

正しい設置のしかた

悪い設置のしかた

この設置をすると本機が正しく動作しません

ほこりやタバコの煙の多い場所、また加湿器の近くに本機を設置しないでください。

ほこりやタバコのヤニ、加湿器の湯気などが、本体内部の部品（レンズなど）に付着すると、故障の原因となります。

「かんたん設定」をするときのポイント

「準備7　かんたん設定をする」（16ページ）

接続と設置が終了し、本機の電源を初めて入れると、かんたん設定画面が表示されます。画面上に表示される案内に従うだけで設定できますが、設定を誤ると番組表などが正しく使えなくなります。下記ご注意は必ず守ってください。

本機の時刻は時報に合わせて正確に設定してください。

時刻が正確に設定されていないと、番組表のデータを受信できなくなったり、設定した予約録画が時間通りに動作しなかったりします。
本機はあらかじめ時刻設定された状態で工場から出荷されていますが、念のため現在の時刻と本機の時刻が一致しているか確認してください。
詳しくは、取扱説明書135ページをご覧ください。

地域番号設定で自動的に設定されたチャンネル設定も、念のため確認してください

初期設定の地域番号設定でお住まいの地域に合った地域番号を選ばなかった場合、番組表が正しく設定されず、予約録画などができなくなったりします。
また、「かんたん設定」の自動チャンネル設定で、受信したチャンネルと地域番号一覧（取扱説明書の19ページ）に記載されている表示チャンネルが一致せず、各チャンネルにガイドチャンネルが正しく設定されていないときは、番組表データを取得するために、手動でチャンネル設定が必要になることがあります。

ケーブルテレビのアンテナを本機につないでいるときは、チャンネルの手動設定が必要になることがあります

ケーブルテレビ局によっては、通常新聞のテレビ欄に記載されているチャンネル番号とは異なるチャンネル番号が割り振られていることがあります。このような場合、かんたん設定の地域番号設定を行っても、受信チャンネルの設定やガイドチャンネルなどの設定が正しく行われず、番組表が表示できなくなることがありますので、取扱説明書の「手動でチャンネルを設定する」（23ページ）をご覧になり、手動でチャンネルの設定を変更してください。

番組表を正しく受信するためのポイント

「番組表を使うための準備をする」（22ページ）

かんたん設定の設定を誤ったりすると、以下のような症状により番組表を利用することができない場合があります。
このようなときは、取扱説明書の22ページをご覧になり、番組表を利用するためのポイントを確認してください。

お買い上げ時は番組表が使えません

お買い上げ時は、本機の中に番組表の番組情報が蓄積されていないため、番組表の番組情報を受信するまでは、番組表が使えません。また、番組情報が取得できないと放送局名を表示することもできません。取扱説明書の「番組表を使うための準備をする」（22ページ）をご覧になり、番組表の番組情報が受信できるまでお待ちください。地域番号を変更すると、番組表の番組情報を取得する時刻も自動的に設定されます。

番組表のデータ取得に関するご注意

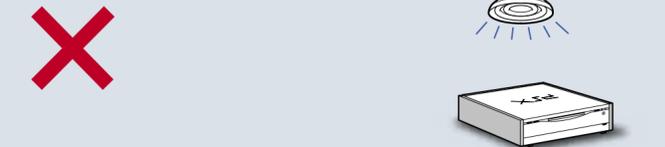
- お買い上げ後、本機を初めて使うときは、番組表を取得するまで番組表の番組情報が表示されません。番組表の番組情報を送信する時間は、番組表の番組情報を送信する放送局(ホスト局)によって決まっていますが、本機の使用状況によっては、番組表を取得できるようになるまで半日～1日程度かかることがあります。
  番組表の番組情報を取得していないときでも、番組表以外の本機の機能はお楽しみいただけます。

以下のような状態のときは番組情報取得時刻になっても、本機は番組情報を取得しません。
- テレビ番組を視聴しているとき
- テレビ番組を録画しているとき
- テレビを視聴中にホームメニューを表示しているとき
- HDD→DVDダビング中のとき
- DV→HDDダビング中のとき
- 最適化実行中のとき
- x-Pict Story作成中のとき

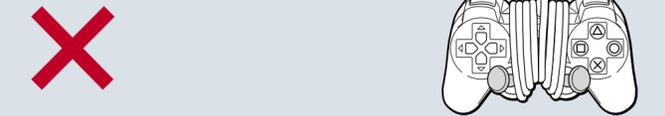
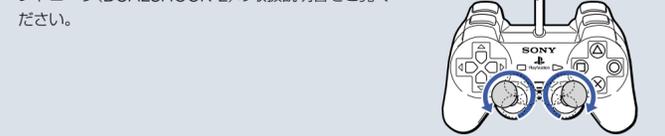
- 取得時刻については、「番組表の番組情報を取得するための時刻を設定する」(127ページ)をご確認ください。
- 放送局からのお知らせがない限り、設定された時間は変更しないでください。
- 番組表の取得時間が近づいたら、本機の電源を切り、1時間ほどそのままにしておくことをお勧めします(この時間帯に録画予約が入っていないことも確認してください)。
- 電波状況やゴーストの発生状況によっては、番組表の番組情報を取得できないことがあります。

リモコンが正しく働かないときの確認ポイント

はじめに以下のことを確認してください

- 本機とリモコンのリモコンモードが合っているか確認してください。
  詳しくは、取扱説明書の「リモコンモードを変更する」(136ページ)をご覧ください。
- リモコンを本体から離れた場所で操作しないでください。
- リモコン受光部に強い光が当たらないようにしてください。

- リモコン受光部の設定を確認してください。
  詳しくは、取扱説明書の「リモコン受光部の設定をする」(136ページ)をご覧ください。

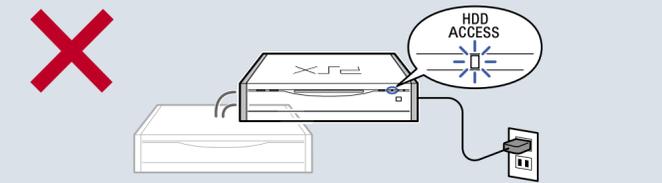
“PSX”専用アナログコントローラ(DUALSHOCK 2)を利用しているときは、以下のことを確認してください

- “PSX”専用アナログコントローラ(DUALSHOCK 2)のボタンが押されていないか、また、ケーブルが巻きつけられて、スティックが傾いていないか、確認してください。

- 電源を入れたあとに、“PSX”専用アナログコントローラ(DUALSHOCK 2)の右スティックと左スティックを大きく円を描くように動かしてください。
  動かしかたについて詳しくは、“PSX”専用アナログコントローラ(DUALSHOCK 2)の取扱説明書をご覧ください。

- それでも改善しないときは、“PSX”専用アナログコントローラ(DUALSHOCK 2)を取り外してください。

本機の取り扱いについて

本機の基本的な準備は、取扱説明書の「準備1 付属品を確かめる」から「準備7 かんたん設定をする」までを終えれば終了しますが、**本機の使用中も、以下の注意事項を守って本機を取り扱わないと、本機の故障につながることがあります。**

本機の電源が「入」のときに、電源コードを抜いたり、本機を動かさないでください

ハードディスクには振動や衝撃、ほこりからデータを守るための安全機構が組み込まれていますが、誤った方法で使用すると、記録したデータを失ったり、故障したりします。
特に以下の注意事項を必ず守ってください。
- 電源コードを挿したまま本機を移動させたり、設置方向を変えたりしない。
- 電源コードを抜き差ししたときや、電源を入り切りしたときは、すぐに動かしたり、移動させたりしない。電源を切ってから20秒程度お待ちください。
- HDD ACCESSランプが点滅しているときは、本機を移動させたり、設置方向を変えたりしない。

本機の中にディスクが入っている状態(取り出しボタンのランプが青く点灯している状態)でディスクを入れようとしないでください

無理やりディスクを入れようとすると、本機やディスクが壊れることがあります。
ディスクが入っていないこと(取り出しボタンの青いランプが消えている状態)を確認してから、ディスクを入れてください。

本機が正しく動作しないときは・・・

まず次のことを必ず確認してください。

① 「PSX準備のポイント」に書かれているポイントをきちんと守って設定したか確認してください。
② 取扱説明書や本書を読んで正しく設置したにもかかわらず、本機が正しく動作しないときは、下記問い合わせ先に御連絡ください。

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

ホームページ　● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/
「ソニードライブ」は、ソニーの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。「良くあるご質問」「修理情報」「ショッピング情報」は、ホームページをご活用ください。

お客様ご相談センター
● ナビダイヤル*……………………0570-00-3311
(全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます)
● 携帯電話・PHSでのご利用は*……03-5448-3311
(ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください)
● FAX……………………………………0466-31-2595
受付時間：月～金曜日 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00

*お電話は自動音声応答にてお受けし、内容に応じて専門の相談員が対応します。
はじめにご用件を下記より、次に音声案内にそって商品カテゴリーの番号を押してください。
選択番号は変更になることがありますので、ご了承願います。
1：修理受付
2：使用方法や故障と思われるご相談
3：お買物相談
4：業務用・プロ用商品に関するご相談全般
5：その他のご相談

ソニー株式会社　〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

本機で再生・ダビングできるディスク一覧

本機では、さまざまな種類のディスクを利用することができます。
本機の機能によって、利用できるディスクが異なります。

ビデオで再生できるディスクについて

ディスクの種類								
	ディスク名称	DVD-ROM	DVD-R	DVD-RW		DVD+R	DVD+R DL	DVD+RW
	ロゴ	DVD ROM	DVD R R4.7	DVD RW		RW DVD+R	RW DVD+R DL	RW DVD+ReWritable
	モード	–	Videoモード	Videoモード	VRモード	+VRモード	+VRモード	+VRモード
	本機での表示	DVD Video	DVD Video	DVD Video	DVD-VR	DVD+VR	DVD+VR	DVD+VR

ビデオでダビングできるディスクについて

ディスクの種類							
	ディスク名称	DVD-R	DVD-RW		DVD+R	DVD+RW	
	ロゴ	DVD R R4.7	DVD RW		RW DVD+R	RW DVD+ReWritable	
	モード	Videoモード	Videoモード	VRモード	+VRモード	+VRモード	
	本機での表示	DVD Video	DVD Video	DVD-VR	DVD+VR	DVD+VR	
対応しているディスクのバージョン		Ver2.0、Ver2.0/4倍速、Ver2.0/8倍速	Ver1.1、Ver1.1 CPRM対応、Ver1.1/2倍速 CPRM対応、Ver1.2/4倍速 CPRM対応		8倍速ディスクまで対応	4倍速ディスクまで対応	
最長録画時間		約6時間					
他機との互換性		○ DVDプレーヤーで再生可能	○ DVDプレーヤーで再生可能	△ VRモード対応の機器でのみ再生可能	△ +R対応の機器でのみ再生可能	△ +RW対応の機器でのみ再生可能	
ダビング可能な回数		1回のみ	くり返し可能		1回のみ	くり返し可能	
ダビング後の追記		×	×	○	×	○	詳しくは77ページ
DVDメニュー作成		○	○	×	○	○	詳しくは79ページ
プレイリスト作成		×	×	○	×	×	詳しくは76ページ
二ヵ国語放送のダビング	主音声のみ	○*2	○*2	○*2	○*2	○*2	詳しくは129ページ
	副音声のみ	○*2	○*2	○*2	○*2	○*2	
	主音声+副音声	△*1	△*1	◎*3	△*1	△*1	

*1 「DVD二カ国語記録音声」の設定で選択した音声で記録されます。
*2 録画時に設定したHDD二カ国語記録音声の音声のみダビングされます。
*3 主音声/副音声両方がダビングされ、再生時に主音声/副音声の切り換えができます。
取扱説明書の「「DVDにダビングする」のご注意」(91ページ)もご覧ください。

ミュージック(音楽の再生)で再生できるディスク

本機で再生できるディスクは音楽CDとCD-Rだけです。
CD-RWは対応していません。
本機で再生するためのパソコンでのCD-Rの作成方法については、取扱説明書の「CD-Rに保存したMP3ファイルを本機で再生するときのご注意」(105ページ)をご覧ください。

ディスクの種類			
	ディスク名称	CD	CD-R
	ロゴ	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	COMPACT disc Recordable
説明		音楽や音声が記録された市販のソフト	CDレコーダーやパソコンで作成したCD。音楽用フォーマットと、MP3ファイルのみ再生可能

フォトで再生できるディスク

本機のフォトで再生できるディスクはCD-Rのみです。
CD-Rの作成に関するご注意は、取扱説明書の「CD-Rに保存した写真を本機で再生するときのご注意」(117ページ)をご覧ください。

ゲームで使えるディスク

ディスクの種類	“PlayStation 2”規格 DVD ROM	“PlayStation 2”規格 COMPACT disc	“PlayStation”規格 COMPACT disc
ディスクに付いているマーク(ロゴ)	“PS”と“PlayStation 2”ロゴタイプと NTSC J と「FOR JAPAN ONLY」表記	“PS”と“PlayStation 2”ロゴタイプと NTSC J と「FOR JAPAN ONLY」表記	“PS”と“PlayStaion”ロゴと NTSC J と「FOR JAPAN ONLY」表記
ディスクの色	銀・金	青	黒
記録しているもの	音声+映像		
ディスクの大きさ	12cm		

本機に対応していないディスクについて

本機は以下のディスクに対応していません
- DVD-RAM
- DVDオーディオ
- 本機では再生できない地域番号(リージョンコード)のDVDビデオ
- CD-RW
- ビデオCD
- スーパーVCD
- スーパーオーディオCDのHD(ハイデンシティ)レイヤー
- NTSC以外のカラーテレビ方式(PAL、SECAM)対応のディスク(本機がNTSCカラーテレビ方式対応のため)